

第28回美術科教育学会京都大会 研究発表等一覧

研究発表20分、質疑応答5分、交代5分

第1日 3月25日(土)午後

表中の使用機材の略号: P-液晶プロジェクター, O-OHC, V-VHSビデオ, S-スライド

12:30	受付開始 / F棟1階玄関内
13:00 13:25	開会行事 / 会場:F16

研究発表	A 子どもの世界観と造形	B 美術教育と方法	C カリキュラム	D 教員養成	E 鑑賞教育と美術館
室番号	F11	F12	F16	F22	F26
13:30	シャボン玉を使った幼児の造形活動-学生とのクラブ行事を通して-	教えるのか? 美術教育で-心理的効果からの検証-	オフトナ美術教育プロジェクトについて-生活と美術の間-	美術鑑賞ワークショップN*CAPプロジェクトにおける学生の学び	美術館鑑賞ガイド作製について-鴨居玲展子どものための鑑賞ガイド(絵画のきもち)を中心に-
13:55	渡辺 一洋(育英短期大学), 塚塚 公代(育英短期大学) P	辰巳 豊(お茶の水女子大学附属小学校) P	大島 賢一(東京学芸大学・連合院) P	山田 芳明(鳴門教育大学), 鶴田 愛子(徳島市上八万小学校) P	助使河原 君江(神戸大学), 池田真規子(神戸市立小磯記念美術館) P
14:00	幼児の平面表現の研究-見えないものを描くとき-	地域に根ざした美術教育実践の研究	東アジアにおける美術教科書とカリキュラム-日・中・台・韓を比較して-	美術教育・大学授業のなりかた-大学授業の当たり前を再考する-	学校と美術館の連携に基づく美術鑑賞シート作成の手順と教材化の工夫-徳島県立近代美術館と公立小学校・中学校の連携を中心に-
14:25	藤原 和幸(堺市教育委員会) P	芳賀 正之(静岡大学) P	新聞 伸也(滋賀大学) P	安東 恭一郎(香川大学) P	仲田耕三(徳島県立近代美術館), 森芳功(同), 竹内利夫(同), 門倉麻耶(同), 濱口由美(徳島市富田小), 坂本和生(徳島市八万中), 結城栄子(徳島県立総合センター), 山本敏子(徳島市加茂南小), 堀内理香(高知県立佐川高), 山本朝彦(鳴門教育大), 有田洋子(鳴門教育大・院) P
14:30	子どもの造形表現と家族像 -昭和30年代から40年代の子どもの表現にみる家族-	美術科教育における描画指導の方法論的研究	戦後の美術科教科書における「デザイン」の研究	教科専門の危機をめぐって	テイ・ギャラリーが提供する鑑賞教育用教材の目的と方法-「テート・トレイルズ」から現行の教師用ガイドまで-
14:55	山川 真樹(京都教育大学・院) P	加沢 朝子(横浜国立大学大学・院) P	天形 健(福島大学) P	大嶋 彰(滋賀大学) P	山本 朝彦(鳴門教育大学) P
15:00	現代における我が国(東京)の大人と子どもの絵本観-実態調査に基づいて-	活動の協働形成過程に関する研究-ビデオレター制作過程における活動・対象・アイデンティティの組織化-	日本と韓国における「美術科学習指導要領」の比較研究-日本の昭和26年度版と韓国の第1次教育課程を中心として-	美術科教育実習の指導及び評価-評定方法について	美術館コレクションと学校の鑑賞教育-「美術を身近なものにするために」鑑賞教育研究プロジェクトの試み2-
15:25	高橋 愛(東京学芸大学・連合院) P	菅野 宣衛(上越教育大学・院) P	千 凡晋(東京学芸大学・院) P	鷺山 靖(金沢大学) P	石川誠(京都教育大学), 小泉薫(お茶の水女子大附属中学校), 一條彰子(東京国立近代美術館), 松村一樹(京都市立高野中学校), 岡山万里(財)大原美術館, 山野英嗣(京都国立近代美術館) P
15:30	子どもは土から学ぶ-恐竜島やキノコの家などの事例研究から-	美術教育におけるワークショップの可能性-「学びの方法」と「アートの方法」をめぐって-	図工・美術科カリキュラムの基礎的研究-「能力」観の考察を通して-		地域の文化財を活用した鑑賞教材開発の予備的考察-小学校教員を対象として-
15:55	愛野 良治(嬉野市立塩田小学校) P	永守 基樹(和歌山大学) P	藤江 充(愛知教育大学) P		姥名 敦子(弘前大学) S

第2日 3月26日(日)午前

研究発表	A 美術教育の実践	B 美術教育基礎論	C 発達・子ども論	D 鑑賞教育	E 鑑賞教育
室番号	F11	F12	F16	F22	F26
9:00	中等教育における身近な風景を瑞々しく感じる感性の教育	日本の中学校での伝統工芸の指導	図工・美術・つなぐもの-造形美術教育における総合性を「Glasgow1999計画」に見る-	つながりである美術鑑賞(1)-コンピュータを活用した鑑賞ソフトウェアの開発-	美術作品の解釈を検討させる鑑賞教育(3)-光琳「紅白梅図屏風」の観賞-
9:25	清水 雄大(京都教育大学・院) P	佐藤 真帆(Roehampton University) P	長島 春美(東京都立大泉桜高校) P	横田 学(京都市立芸術大学), 石原麻衣(同・院) P	有田 洋子(鳴門教育大学・院) P
9:30	バーチャル舞台空間に入ってみる感性学習について-楽しみながら模型を製作し、音響および光の空間をまとめていく過程から-	豊かな「見方」を育てる絵画学習の指導-小学校高学年の多様な遠近法習得学習を通して-	子どものイメージの発達に応じた図画工作の題材の内容や支援の工夫-子どもの可能性を広げるための実践-	つながりである美術鑑賞(2)-美術鑑賞教育の提案-	小学校における自己の言葉で関わる鑑賞教育の方法
9:55	足立 彰(京都教育大学附属京都中学校) P	井無田 浩(鳴門教育大学・院) P	細内 俊久(宇都宮大学附属小学校・宇都宮大学・院) P	石原 麻衣(京都市立芸術大学・院), 横田 学(京都市立芸術大学) P	塩見 孝次(京都市立桃山南小学校) P
10:00	図画工作科を通した自尊感情の形成-表現と鑑賞を関連させた実践から-	石膏とガーゼを使った外側型取り手法についての考察-ジョージ・シーガルの手法を子どもの造形活動で活用するために-	Second Skin-現代美術の肌膚と大野一雄の舞踏の身体-	中学生を対象とした鑑賞教育	「かたまりとギザギザ」、「塊と表面と形」-戸谷彫刻の鑑賞- 戸谷成雄「もうひとつの森へ」(長野県信濃美術館)を鑑賞する2つの指導実践を巡る考察-
10:25	竹内 晋平(京都教育大学・院, 京都市立鷹峯小学校) P	橋本 忠和(兵庫県安富町立安富北小学校) P	渡邊 晃一(福島大学) V	石井 理之(池田市立北豊島中学校) P	岡田 匡史(信州大学) P

研究部会	工作・工芸領域研究部会	美術教育の課題と授業研究部会	アートセラピー研究部会	美術教育史研究部会
室番号	F12	F16	F22	F26
10:40	工作・工芸の視点からこれからの美術教育を考える(代表:西村 俊夫)	研究部会のあり方と課題 美術教育の課題と授業研究部会のありかたをめぐって(代表:新井 哲夫)	アートセラピーを機軸とした、美術教育の新たな展開へ 部会活動の中心的総括と今後の展望(代表:長谷川 哲哉)	美術教育史研究の可能性ともしろさ 変革の時代に時勢と関係ない研究を(代表:金子 一夫)
12:10				

第2日 3月26日(日)午後

研究発表	A 美術教育の実践	B 内容・教材論	C 美術教育史	D 鑑賞教育	E メディアと美術教育
室番号	F11	F12	F16	F22	F26
13:10 1 13:35	美術教育における電子情報ボードの活用に関する研究 森長 俊六(広島大学附属中・高校) PV	芸術系定時制高校生の美術・デザインへの関心 日野 あすか(大阪市立第二工芸高校) P	アメリカに亡命したバウハウス知識人たちの苦悩についての一考察 普照 潤子(神戸大学・院)	鑑賞と表現の一体化を意図した実践事例-鑑賞活動から表現活動へ- 辻 泰秀(岐阜大学),古田 啓一(岐阜県美術館) PV	アクセシビリティに配慮したWEB教材について 近藤康太(佐賀県立北部看護学校) P
13:40 2 14:05	「対話」をひきだすための触覚教材の開発と実践的研究-「黒陶球」の実践から- 木村 典之(大分大学附属中学校) P	戦後の美術科教科書における掲載作品の研究-掲載された歴史的絵画および立体作品に関する考察- 山口 喜雄(宇都宮大学) P	初等デザイン教育の黎明期における「子どものデザイン」概念の検討-日本の初等デザイン黎明期の概観と本研究の俯瞰- 大泉 義一(北海道教育大学) P	美術教育における学校・美術館・大学の連携-岐阜県美術館の取り組みを中心にして- 古田 啓一(岐阜県美術館),辻 泰秀(岐阜大学) PV	情報メディア時代の異文化理解教育ワークショップ-お茶箱プロジェクトの実践- 茂木 一司(群馬大学),佐藤 優香(国立歴史民俗博物館),原田 泰(多摩美術大学),下原 美保(鹿児島大学),上田 信行(同志社女子大学) P
14:10 3 14:35	総合的な学習としての授業実践における考察 小林 貴史(東京造形大学) P	小学校図画工作科における彫刻的表現題材の変遷 奥西 麻由子(東京学芸大学・連合院) P	昭和初期手工教育の実際 -加茂農林学校における木工による手工教育を探る- 齋藤 暁子(郡南中学校) P	知の統合力を育成する鑑賞学習支援システムの開発 橋本 泰幸(鳴門教育大学),谷口 幹也(鳴門教育大学) P	e-とびあ・かがわ「ワークショップ・オン・ワークショップ2005」からの考察-アートとメディアと人々が出会う場としての地域文化施設- 畑中 朋子(NPO学習環境デザイン工房,デジタルハリウッド),荻宿 俊文(NPO学習環境デザイン工房,大東文化大学) P
14:40 4 15:05	美術教育におけるポートフォリオの導入状況に関する研究-中学校及び高等学校を対象に- 吉川 昌宏(広島大学・院) P	中日中学校美術教科書の比較研究-掲載題材の内容を中心に- 胡 文涛(広島大学・院) P	北川民次と創造主義の美術教育 新井 哲夫(群馬大学) P	みろ的つくる-造形教育における鑑賞のあり方について- 西村 徳行(筑波大学附属小学校) P	3Dアニメーション制作の理解と指導法-3DCG表現教材化の基礎研究- 上山 浩(三重大学) P

学術講演	会場: 大講義室2
15:20 16:30	講師・演題: 佐々木 丞平 先生(京都国立博物館長)「教育の中で日本の伝統美を考える」
懇親会	会場: 大学会館
17:00 19:00	学会賞授与 / 懇親会

第3日 3月27日(月)午前

研究発表	A アートと文化	B 芸術教育と子ども論	C 美術教育史	D 鑑賞教育	E 遊びと造形
室番号	F11	F12	F16	F22	F26
9:00 1 9:25	「改革と美術教育ルネサンス」-美術工芸の実践教育を通じた改革ルネサンス芸術(絵画・彫刻・デザイン・工芸等)をめざして- 宮之原 ノリ子 OS		戦後デザイン教育の創成期に関する一考察-造形教育センターの取り組みを中心に- 太田 美香(愛知教育大学・院) P	美術鑑賞文におけるレバートリー構造の分析 王 文純(インディペンデント・スクラー),石崎 和弘(宇都宮大学) P	間伐材素材をいかした、造形遊びの授業 押田 彰子(厚木市立戸室小学校),関 邦春(ナウシカの会) P
9:30 2 9:55	関係を築くアート-人と人をむすぶスタイル- 久永 葵(京都教育大学・院) P	授業プログラム作成のための児童の視覚イメージに関する研究-表現・鑑賞領域授業実践をとおして- 幸 秀樹(宮崎大学) P	国沢新九郎の洋画指導から見る百武兼行の絵画研究 中村 幸子(兵庫教育大学・連合院) P	中日中学校美術科における鑑賞教育方法の比較研究 -「ゲルニカ」の場合- 鮑 双陽(広島大学・院) P	社会教育における造形あそびの可能性-親子造形ワークショップによる子育て支援- 赤座 雅子(Kids'craft子ども絵画造形教室) P
10:00 3 10:25	美術教育とコミュニケーション 持田 美保(出雲市立旭丘中学校) P	現代における「子どもの絵」の発達の可能性-教育実践例にみる感性世界の表現の変貌と変革- 村田 利裕(京都教育大学) P	「教育博物館(明治10年創立)」と見失われた<教育機関としての博物館> 大司 美智子(千葉大学・院) P	国際バカロレアを視野に入れた美術鑑賞教育の実践研究-地域の美術研究を中心にして- 小池 研二(東京学芸大学附属大泉中学校) P	「造形遊び」に見る子どもの関心・意欲-教科書教材の分析を通して- 岩崎 由紀夫(大阪教育大学),武田 信吾(同大学付属天王寺小学校) P
10:30 4 10:55	表出レベル伝染(うつ)るんです! -ある小児科病棟でのビューティーな絵空事- 吉田 悦治(琉球大学) PV		学会誌掲載論文から読み取る美術教育学研究の動向 宮本 恭二郎(広島大学・院) P	絵画を読む活動を取り入れた鑑賞学習の開発 笹本 博紀(千葉大学・院,千葉市立磯部第三小学校) P	小学校との連携による「造形遊び」の意味の再考 西村 俊夫(上越教育大学) P
11:00 5 11:25		意味形成の活動単位に基づく臨床的教育実践の在り方 松本 健義(上越教育大学) P	女子美術教育における「手芸」の位置付け 山崎 明子(千葉大学) P	美術鑑賞指導の実践と考察 坂本 和生(徳島市八万中学校) P	

学会総会	会場: F16
11:35 12:30	学会総会

発表者の方へ:

- 発表の準備は、発表者控室で行ってください。
- 研究発表の進行は、次のように行います。一鈴(15分経過)、二鈴(20分経過、発表終了)、三鈴(25分経過、質疑応答終了)
- パソコン利用の場合、募集案内で機材は各自で用意いただくようになっています。会場にPowerPoint2003を入れたWindowsノートパソコンを用意しますが、作動確認は各自で行ってください。ソフトの違い等による対応は、いたしかねます。